

刊行にあたって

この度、Benesse 教育研究開発センターでは「高校データブック2013」を刊行する運びとなりました。

本書はこれまでBenesse 教育研究開発センターが実施した、高校生・高校教育に関連する様々な調査の結果から特徴的なデータをピックアップして、編集したものです。

周知のように、この2年、我が国においては高校教育の改革が叫ばれ、中央教育審議会（高等学校教育委員会）において、求められる人材像、高校再編、学習指導要領の弾力化に至るまで、高校教育の根幹に関わる様々な課題について議論が重ねられてきました。

また最近では、中心的な検討テーマを高校教育の質保証に置いています。そこでは、高校で求められるコア学力の議論、その学力水準を測定し担保する学力テストの導入など、大学入試改革とも連携しつつ議論されています。いよいよ改革の実行に向けた新たな段階に入ったと言ってもよいのではないのでしょうか。

当センターでは、このように劇的に変化する高校教育の環境を適切にとらえつつ、高校の先生方、また行政の方々と手を携えながら、今後どうすべきかを知る手がかりをつかむべく、様々な調査・取材・研究に取り組んでまいりました。

本データブックはそれらの成果の中から、特徴的な調査結果を選びました。内容は、高校生の実態や課題を時系列的な観点から体系的にとらえることを主眼として、次のように構成しています。①高校への進学段階の実態（高校受験の実態および入学後の高校1年生の実態）、②高校生の学習と日常生活の実態、③高校生の意識の実態、④高校での学習指導・進路指導の実態、⑤高校生の進路選択（主に大学受験）の実態、です。

すでに全国の高校現場また行政の場では、高校教育のさらなる向上に向けて、すなわち高校生一人ひとりの未来のために、熱意ある取り組みが進められています。

本データブックをそのようなご努力を加速し、実りあるものとしていただくための一助として、お役立ていただければ幸甚に存じます。

2013年3月
Benesse教育研究開発センター

刊行にあたって	3
---------	---

巻頭特集 これからの高校教育を考える



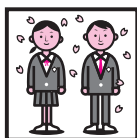
これからの高校—主体的な学び手を育てる—	8
----------------------	---

Benesse 教育研究開発センター・VIEW21 編集長 小泉 和義

高校教育改革を考えるための「さらなる論点」	10
-----------------------	----

Benesse 教育研究開発センター 主任研究員 樋口 健

第1章 中学から高校へ



この章のポイント

高校受験の実態から高校1年生の「学び」の課題を再確認する	14
------------------------------	----

1 高校受験	15
--------	----

- ①-① 志望校選びで重視したこと 15
- ①-② 第一志望校と自分の学力レベルについて 16
- ①-③ 志望校選びの情報源 17
- ①-④ 志望校選びについての母親の関わり、親子関係 18
- ①-⑤ 勉強の理由と方法 19
- ①-⑥ 自分なりの工夫 20
- ①-⑦ 高校受験を振り返って 21
- ①-⑧ よかったこと・反省点 22
- ①-⑨ 現在の高校での取り組み、悩み 24

2 高校入学時点の高校1年生の実態	26
-------------------	----

- ②-① 高1のときに感じたこと 26
- ②-② 高1からの不得意教科と中学時代の苦手教科 27
- ②-③ 高1のときに不得意と感じるようになったきっかけ 28
- ②-④ 不得意教科の克服・解消方法 29
- ②-⑤ 高1・1学期の勉強方法 30

第2章 高校生の学習と日常生活



この章のポイント

良好な人間関係を志向し、学びに向かいにくい高校生が増加	34
-----------------------------	----

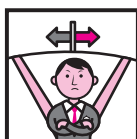
1 高校生活	35
--------	----

- ①-① 高校生の家庭での学習時間 35
- ①-② 高校生の学習観 36
- ①-③ 学習する上での課題 37
- ①-④ 高校生が勉強する理由 38
- ①-⑤ 部活動への参加状況と学習時間との関係 39

2 日常生活	40
--------	----

- ②-① 親子関係 40
- ②-② 友人関係 41
- ②-③ 1日あたりのメディア利用時間 42
- ②-④ パソコンの利用 43
- ②-⑤ 携帯電話の利用 44
- ②-⑥ 生活時間 46
- ②-⑦ 夕方(17時)、夜(20時)、深夜(23時)の行動 47
- ②-⑧ 行動別の生活時間 48
- ②-⑨ 放課後の遊び場 50
- ②-⑩ おこづかい 51

第3章 高校生の意識



この章のポイント

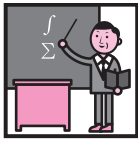
高校生の価値観・社会観の実態と変化の兆し	54
----------------------	----

1 性格・気質	55
---------	----

- ①-① 自分自身について 55

2 価値観・社会観	56
2-① 社会観	56
2-② 将来なりたい職業の有無	57
2-③ 将来の夢の有無、理想の大人が存在	58
2-④ 生活満足度	59
2-⑤ 東日本大震災後の社会貢献意識の変化	60
3 留学への意識	62
3-① 海外留学について	62
4 自分の将来や進路への意識	63
4-① 将来について思うこと	63
4-② 進路選択で高校に期待すること	64

第4章 高校の指導の実態



この章のポイント

高校での指導の実態からみる高校教育の課題	66
----------------------------	-----------

1 学習指導	67
1-① 生徒に関する高校教員の悩み	67
1-② 教員の指導観	68
1-③ 授業時間の使い方・進め方	69
1-④ 朝・放課後・土曜学習の実態	70
1-⑤ 家庭学習指導	71
1-⑥ 宿題の出題頻度	72
1-⑦ 教員の土日出勤、悩み	74
2 進路指導	76
2-① 進路選択の時期	76
2-② 進路指導する上での課題	77
2-③ 高大接続の課題	78
2-④ 保護者が高校の指導に求めていること	79

第5章 高校から大学へ



この章のポイント

高校生の進路選択、大学受験の実態はどうなっているのか	82
----------------------------------	-----------

1 進路選択	83
1-① 大学受験に対する意識	83
1-② 大学進学に対する意識	84
1-③ 大学を選ぶ際に重視すること	85
1-④ 大学・短大・専門学校への進学理由	86
1-⑤ 子どもの進路選択に対する保護者の関与	87
1-⑥ 志望校の検討	88
1-⑦ 大学入試形態に対する考え	90
2 大学受験	92
2-① 高校時代の学習時間	92
2-② 受験対策の内容	94
2-③ 経験した入試方法	95
2-④ 「あきらめずに努力し続けた」生徒の比率	96
2-⑤ 努力し続けた生徒の受験対策の開始時期、受験校	97
2-⑥ 努力し続けた生徒の高校時代の学習時間	98
2-⑦ 大学への進学理由	100
2-⑧ 努力し続けられなかった生徒の後悔	101
2-⑨ 努力し続けた生徒のふだんの勉強方法と受験対策	102
2-⑩ 大学生活について思うこと	104
2-⑪ 大学入学後（1年生時）の学習時間	105

調査一覧	106
高校・高校生の基礎データ	108
Benesse 教育研究開発センターについて	112